

令和4年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業）のうち、以下の事業に対する公募結果について

- (3)-2 電線、変圧器等廃棄物発電により生じた電力を利活用するための設備、これらの設備を運転制御するために必要な通信・制御設備等を導入する事業
- (4)-2 熱導管等廃棄物の処理により生じた熱を利活用するための設備、これらの設備を運転制御するために必要な通信・制御設備等を導入する事業
- (5) 廃棄物処理施設からの余熱や発電した電力を地域において有効利用するために、熱や電力を利活用する設備設置に対する余熱見込量や事業採算性の検討等を行い事業としての実現可能性を調査する事業

当協会は、標記の件について、令和4年4月4日(月)から令和4年4月22日(金)まで第一次公募を行い、応募案件の審査を行った結果、下記の2件を採択しました。

記

1. 廃棄物処理施設からの余熱や発電した電力を地域において有効利用するために、熱や電力を利活用する設備設置に対する余熱見込量や事業採算性の検討等を行い事業としての実現可能性を調査する事業

応募事業者：2件 採択事業者数2件

申請団体名	エネルギー供給施設	事業概要
神奈川県横浜市	鶴見工場	資源循環局鶴見工場で発生した蒸気を、東亜合成株式会社横浜工場まで送気し使用することで、東亜合成横浜工場で蒸気を発生させるために使用する化石燃料を削減し、CO2の排出抑制を図る。この事業についての実現可能性調査を行う。
茨城県那珂郡 株式会社東海クリーン	東海クリーン 産業廃棄物処理施設	本補助事業では、新規熱需要として東海クリーンの焼却施設から、ほしいも残渣の飼料化施設への熱供給事業に対する実現可能性調査を行うものである。